
兄に恋をしちゃダメですか？

紅の雲雀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

兄に恋をしちゃダメですか？

【コード】

N18530

【作者名】

紅の雲雀

【あらすじ】

私、椎名桜は兄に恋しています。それは絶対に結ばれない恋……。でも諦められない恋。そんな恋？のお話

最初……（前書き）

最初は兄視点だけど妹が兄に恋する話です

これを見て楽しめたら嬉しいです

最初……

「…………… たぶん今は7時くらい。いつもなら俺は起きて妹の朝飯を作るはずなんだけど……………」

「何でお前が俺の布団に入ってたんだ？」

「……………」

「寝てるフリなんて効かないぞ？」

「…………… じゃあ私とキスして」

「いきなり何だよ」

「意味が分からない……………。早く起こして飯の準備したい……………」

「いいから早くどけ！」

「いやだ、一生離れない……………」

いきなり妹の桜が抱きついてきた。もちろん俺だって男だ、妹相手に動揺した。でも俺は顔色一つ変えないで言う。

「お願いだから離れ……………」

「やだ」

「おね……………」

「やだ」

ちよつと心が折れてきた……………」

「もうこのままでいいよ……………」

疲れたから布団にもぐる。

もう面倒くせえー。どうにでもなれ……………」

「お兄ちゃん遅刻するよ」

「お前のせいだ！」

今、桜のやつ可笑しな発言したぞ！

ん？そういえば俺の名前言ってないな。俺は紅葉。この名前は女の子っぽくて気に入ってない……………。ちなみに苗字は椎名だ。

「早く食べるよ！ 遅刻するから！」

「遅刻しそうになったらお兄ちゃんが私をおんぶしてね」
「自分で走れよ！」
こうして俺の面倒くさい一日が始まる……

最初……（後書き）

この作品は不定期更新です

だからいつ更新できるか分かりません

それでもよかったらこの作品をよろしくお願いします

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1853o/>

兄に恋をしちゃダメですか？

2010年10月13日14時42分発行